

一般質問

主な質問と答弁

日中一時支援事業

柔軟な利用に向けて見直しを検討 多様化する利用ニーズに対応する

脇 礼子

(民主クラブ)

質問 放課後等デイサービスと日中一時支援事業との併用について、日中一時支援事業の事業所では医療的ケアが必要な児童の受け入れがないという状況を市はどのように捉えているのか。

答弁 療的ケアが必要な児童の受け入れは、一部の放課後等デイサービスでは可能であるが、日中一時支援事業では難しい状況にある。今後の多様化する利用ニーズに対応するため、より柔軟にサービスが利用できるように事業の見直しを検討する。

質問 また、生活介護と日中一時支援事業の同日での併用を認めていない理由と、今後の対応について市の見解を聞きたい。

答弁 生活介護との併用については、生活介護には基本となるサービス提供時間を延長できる仕組みがあるため、現在はその仕組みを活用して対応している。時間延長のニーズがふえている一方、現職者が延長に取り組むに



東京2020オリンピック競技大会に向けて海岸美化を推進する

オリンピックを好機に推進 海岸美化の取り組み レガシーとしての継承に努める

有賀 正義

(無所属クラブ)

質問 東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技の開催が近づく中、世界の人々を迎えるに当たり、海岸美化についての市の考えを聞きたい。

答弁 国際オリンピック委員会が、1990年に「環境」をオリンピック精神の第三の柱とすることを宣言するなど、世界においても環境対策に取り組む気運が高まっており、本市においても、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会藤沢市支援方針の中で、環境に関する取組として「持続可能な循環型社会の構築に向けた取組の推進」を定めている。

質問 国際オリンピック委員会の好機と捉え、海岸美化を一層推進していく。世界各國から訪れる選手、観光客に、藤沢が誇る江の島の美しさとともに、ごみのない海岸線の美しさを心に刻んでいただき、世界共有のレガシーとして継承されるよう努めていく。

質問 大清水スポーツ広場の将来的な見通しは

答弁 大清水スポーツ広場の整備は用地問題などの課題が多いことから、既存施設の有効活用により、活動場所を拡充することなどに努めていく。

質問 小学校の食育促進
栄養教諭等と連携

答弁 栄養教諭の配置人数及び推移、指導の成果事例について聞きたい。

答弁 配置人数は、神奈川県教育委員会により定められ、平成19年に1人、24年に6人追加、29年にさらに2人追加し、現在9人が任用されている。

小学校給食において、丁寧な給食管理と食育活動の充実を図る

包括ケアシステムの深化と総合的な支援について、市丸ごと地域共生社会の趣旨と、藤沢型地域包括ケアシステムとの関係性について聞きたい。

答弁 我が事・丸ごと地域共生社会は、地域が抱える生活課題について、住民の主体性に基づく我が事の意識の醸成を図り、地域の持つ力と公的な支援体制が協働し、暮らしを丸ごと支えることで、安心して暮らせる地域を実現するというものである。藤沢型地域包括ケアシステムにおける「目指す将来像」及び「3つの基本理念」と方向性が一致することから、国の動向と密着した取り組みを進めていく。

質問 13地区における住民主体の活動実績を見える化、尊重しながら、新しい地域文化芸術の振興

答弁 文化芸術の振興のためには、分野や個人、団体上では、分野や個人、団体を問わず、発表の場を提供していく必要がある。

質問 市民病院のがん支援
地域医療機関と連携

答弁 仕事と治療の両立などの課題と向き合うがん患者に対し、市民病院は地域がん診療連携拠点病院としてより丁寧で細やかな支援を行う必要があるが、国の第3期がん対策推進基本計画を受けた今後の方向性や課題について聞きたい。

答弁 患者が安心して治療を受け続けられるよう、がん相談支援センターを中心としたさまざまな支援を行っている。がん相談支援センターでは、がん相談を専門とする医療ソーシャルワーカー1名と看護師1名を配置し、患者とともに考え、他の医療スタッフと連携し、

企画展のない時期に個人利用が可能なアートの展示ルーム